

1才になりました

6月生まれのみんな、お誕生日おめでとう。



曾我 ほのかちゃん H18.6.4生
1歳のお誕生日おめでとう！
ほのかが生まれてもう1年！毎
日とっても幸せだよ！これから
もニコニコ明るく元気なほのか
でいてね！
大井町 桂吾さん・淳子さん



町野 弥博くん H18.6.4生
とっても穏やかでいつも私たちを癒してくれる弥博くん。お兄ちゃんが元気過ぎていつも泣かされてしまうけど、2人仲良く元気に大きくなっているね。
大井町 正博さん・友加里さん



田中 美優ちゃん H18.6.5生
お誕生日おめでとう。いつも
ニコニコ元気なみゆちゃんは、
お父さんとお母さんの大切な宝
物です。明るく、優しく、たくま
しい女の子になってね。
大井町 義之さん・ゆかりさん



小栗 大和くん・千和ちゃん H18.6.5生
ふたご座の星の下に
生まれた2人。いつも
でも仲良く、協力し合って
元気に育ってね。
長島町 総一郎さん・直美さん



川上 知洋くん H18.6.8生
双子の藍姉ちゃん、翼兄ちゃん
に負けないよう、家族の中で
一番大きな声を出しています。
武井町 英也さん・裕子さん



藤井 �煌士くん H18.6.8生
煌君、元気に生まれて育って
くれてありがとう。とっても表
情豊かで歌が好きな煌君が、み
んな大好きだよ。これからも元
気いっぱい大きくなっているね。
大井町 嘉人さん・香さん



林 洋希くん H18.6.8生
あっという間の1歳、おめで
とう！いつも食欲旺盛で笑顔
いっぱいの洋希。パパとママの大
切な宝物だよ。これからもたく
ましく、その笑顔でみんなを
幸せにしてね。
笠置町 広和さん・綾子さん



大山 照人くん H18.6.8生
あっちゃん、お誕生日おめで
とう！病気で入院したり、心配
したりすることもたくさんあつ
たけど、元気に育ってくれてあ
りがとう。これからもたくさん
食べて大きくなろうね！
長島町 直樹さん・泰子さん



大山 歩菜ちゃん H18.6.15生
歩菜、誕生日おめでとう！歩
菜の『元気な姿・大きな声・笑
顔』が毎日見れて、お父さんとお
母さんはうれしいです。笑顔
いっぱい、伸び伸びと育ってね。
長島町 隆典さん・素子さん



柘植 柚吟くん H18.6.25生
柚吟、お誕生日おめでとう。
あっという間に1年がたちま
したね。これからも、すくすく元
気に育ってね。
大井町 利一さん・真理さん

7月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真（なるべく1人で写っているもの）の裏に住所、氏名（ふりがな）、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名と簡単なコメントを添えて、6月15日（金）までにお申し込みください。
申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

申し込み・問い合わせ 〒509-7292 恵那市長島町正家 恵那市役所まちづくり推進課広報広聴係 26-2111（内線319）



「ホタルの会」会長
三宅 哲夫さん
串原第9区・73歳

みやけ

小川に光る虫の記憶

「小学校に入ったころだったか…、夜、近くの小川で光る虫にとても興味を持ったことを覚えていました」。

三宅さんがゲンジボタルの飼育を携わったのは、今から15年前。当時勤めていた明智町のゴルフ場で、コース内を流れ川での虫の飼育を命じられたことに始まる。「そのとき指導してくれた先生が、川の水を口に含めと⾔うので、口に入れました。その瞬間、異臭と味に耐え切れず吐き出してしまい、こんな水では虫は住めないと思いました」。それから2年かけて、川の水や虫のえさであるカワニナの調査、川の浄化工事などをを行い、虫の飼育に取り組んだ。3年目には、虫の鑑賞会が初めて開かれ、以後、毎年続けられている。また虫はきれいな水でなければ生息しないことから「自然環境のバロメーター」ともいわれ、虫の飼育を通して三宅さんは、自然環境保護の大切さを痛感したと言つ。退職後には、地元の友人と串原を流れる松本川で虫を生息させようと

「ホタルの会」を結成し、増殖活動を始めた。生息に必要な水の浄化をさらに図るため、今年は矢作川の流木で作った炭をろ過材に利用し、奥矢作森林塾と共同した作業も行った。また串原小学校では、昨年から2年生が、校内での虫の飼育や水について学ぶ生活科の授業を行つてあり、三宅さんは講師を勤めている。「2年生に虫の飼育は難しいかと心配したが、子どもたちは本当に真剣に取り組んでくれています。私たちの気付かないようなことまで観察していく、質問に答えられないなんてながら教える授業を楽しそうに話す」と、子どもたちと触れ合いながら教える授業を楽しそうに話す。「昔は川でよく遊んだものです。今では、川は危険だと教えられ、あまり近づきません。子どもたちに虫や水の役割について教えることで、もっと川を身近に感じてほしい」。川辺に飛び交うたくさんの虫の光景が、子どもたちの記憶に残ることを願いながら、三宅さんはこれからも串原を流れる河川を見守り続ける。